

会員数:3,440名 620施設
 東部:1,154名 中部:1,034名 西部:1,252名
 施設会員数:3,258名 自宅会員数:182名

身の程を知る



公益社団法人 静岡県理学療法士会
会長 **森下 一幸**

2025年度がスタートしました。どの職場も新入職員を迎えて明るい雰囲気になっていくのではないでしょうか？新入職員の皆様が大きく成長され、地域に、社会に貢献出来る専門職として輝かれることを楽しみにしています。静岡県理学療法士会は会員の皆様が活躍出来る機会を提供させていただき、その経験を持って皆様の成長を後押しすると同時に、会員の皆様が自信と希望、さらには誇りを持って仕事に取り組めるようお手伝いをしていきます。様々な情報を発信しますのでぜひホームページ等でご確認ください。

2025年問題として様々な社会問題が数年前から提起されています。団塊の世代が後期高齢者となり医療と介護ニーズが急激に増加し、看護・介護不足や社会保障費の増加などが大きな問題だと言われ続けてきました。この社会情勢のなかで我々理学療法士はどのように役割を果たすべきでしょうか。理学療法士の強みは急性期、回復期、生活期のすべての病期に対応が可能であるとともに、様々な病気やケガにも対応ができ、もって生じた障がいや困難に対し手を差し伸べることができること、があげられます。時代のニーズに感度良く対応しその専門性を変化させていくことも重要です。最近では国民の健康増進と介護予防、学校保健や母子保健など理学療法士への期待がさらに拡大しています。こうしたニーズに対応すべく、我々理学療法士は成長しつづけると共に力を合わせる事が今後さらに重要となります。静岡県理学療法士会は県民の皆様からの様々なニーズを受け付けそれらにしっかり応える体制を整えています。県民の皆様が健やかに生活できる社会の実現を目指し、専門性を磨き社会に貢献していくことが国家資格を有する我々の責任です。

「身の程を知る」という慣用句があります。この文言は自分の身分や能力、分際をわきまえて相応に振る舞うことを意味しています。「その立場と役割を与えられたなら、何を期待され何をすべきかに責任をもって応えることが大事」と自分は解釈し自身の行動に照らし合わせてきました。我々理学療法士が社会からもっともっと必要とされる専門職として発展できるよう、会員一人一人の頑張りを期待しています。

2025年度もどうぞよろしくお願いいたします。

第28回静岡県理学療法学会大会

理学療法の 温故知新

開催日：2025年6月22日（日）

会場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

大会長：俵 祐一（聖隷クリストファー大学）

副大会長：春藤 健支（聖隷三方原病院）

準備委員長：松下 太一（北斗わかば病院）

事前参加登録受付開始

期間：2025年4月1日(火)～6月19日(木)

登録方法：

日本理学療法士会会員 協会マイページ

それ以外の方 イベントペイ

参加費用：

会員、会員外 4000円

学生 500円



※詳細はHPをご確認ください。

随時更新中

<https://shizuoka-pt.com/spta-congress28/>



懇親会のご案内

【日時】2025年6月22日（日）

受付 18:30～ 開会 19:00～21:00

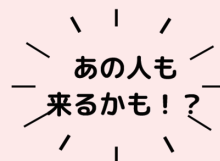
【場所】アクトシティ浜松コンgressセンター
4階 41会議室

【会費】5,000円（当日受付にてお支払）

【定員】80名

【申込方法】事前申込制（2025年6月8日まで）

※下記専用フォームよりご登録ください



<https://forms.gle/4kTgB6KBYTp5nLRw6>

交流セッションのご案内

テーマ

キャリアデザイン交流会～自分らしい道を見つける～

司会

武 昂樹氏（北斗わかば病院）

日時

2025年6月22日（日）14:40～15:40

場所

アクトシティ浜松コンgressセンター 44 会議室（第4会場）

これまでのキャリアを振り返り、今後のキャリアデザインを考える
悩みを言語化し、解決の糸口を探る

参加者同士で交流し、継続的な繋がりをつかきとする

申込方法

- ・ 事前申込制（先着25名）
- ・ 申し込みは5月7日から開始しました。事前参加登録をしてから、学会HP交流セッションページよりお申し込みください。
- ・ 参加者決定後、Slackを用いた事前交流を行なっていただきます。

特集

公益社団法人 静岡県理学療法士会
第28回静岡県理学療法学会大会

第10回全国小学生フェンシング選手権大会

山下浩史1)2) 縄田琴美2)

1)JA静岡厚生連遠州病院 2)予防局メディカルサポート部

【大会概要】

令和7年2月23日(日)、24日(月)の2日間、ブラザヴェルデ沼津にて第10回全国小学生フェンシング選手権大会が開催されました。静岡県理学療法士会からは、両日それぞれ2名のスタッフがメディカルサポート活動に参加いたしました。

【活動内容】

本大会には、延べ610名(複数種目参加者を含む)の小学生選手が出場し、小学3・4年生の部と5・6年生の部に分かれ、フルレ、エペ、サーブルの3種目が行われました。私たちは会場の一角に設けられたメディカルサポートのブースに医師と共に待機し、試合中の要請や試合前後にブースを訪れた方に対して、医師の診察後、必要な処置対応を行いました。

幸いにも2日間において重傷者が出ることなく、無事にサポート活動を終えることができました。

今後も様々なスポーツ大会が安全に開催されるよう、専門性を活かしたサポート活動を継続していきたいと思います。

【対応件数】

処置件数:6件

アイシング	3件
テーピング	1件
止血処置	1件
その他	1件

会場の様子



【謝辞】

この度、貴重な機会を与えてくださいました日本フェンシング協会、大会関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



静岡マラソン2025

山下浩史1)2) 河村明茂2) 芦沢俊樹2) 花田高彬2) 栗田泰成2)

1)JA静岡厚生連遠州病院 2)予防局メディカルサポート部

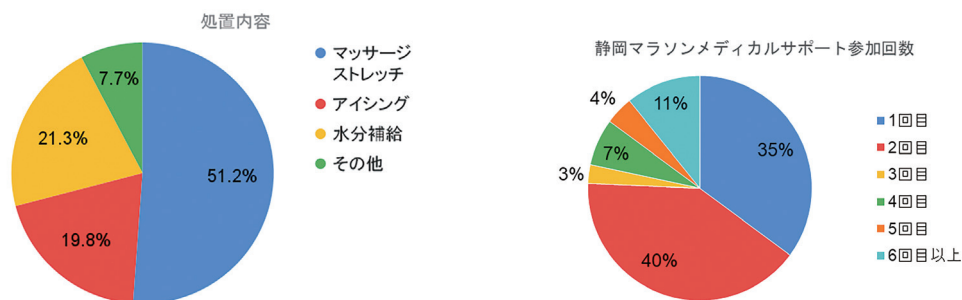
令和7年3月9日(日)、昨年に引き続き静岡市内で「静岡マラソン2025」が開催され、沿道およびゴール後のエリアに設置された12か所の救護所において、計76名のスタッフがメディカルサポート活動を行いました。

今年も昨年同様に温かく穏やかな天候となりましたが、レース後半の時間帯には気温上昇に伴い、暑さを訴える選手が散見されました。理学療法士による処置対応は239件となり、前回(203件)を上回る結果となりました。スタッフの35%が本活動に初参加でしたが、40%が2回目の参加であり、各救護所では看護師によるトリアージと医師の診察・指示のもと、スムーズな連携による処置対応ができました。

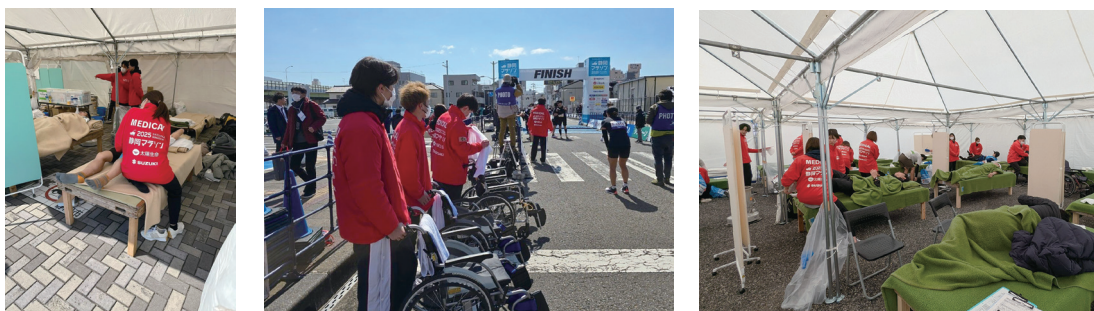
コロナ禍を経て昨年から再開となった静岡マラソンでは、今回、静岡県理学療法士会の代表者が事前の全体会議に参加できたことで、昨年以上に情報共有が円滑に進みました。今後も静岡県理学療法士会として、スポーツイベントにおけるメディカルサポート活動を通じた社会貢献を継続していく所存です。

処置件数: 合計239件[沿道(9か所):133件、ゴール後(3か所):106件]

処置内容: ストレッチ・マッサージ、アイシング、その他(水分補給、保温など)



フェスティバルの様子



【謝辞】

この度、貴重な機会を与えてくださいました静岡マラソン実行委員会ならびに関係の皆様には、厚く御礼申し上げます。

パラベースボールフェスティバル in Shizuoka

大庭 弓子1)2) 下田 健一郎2)

1)haguみしま 2)予防局メディカルサポート部

【大会概要】

主催：中部東海身体障害者野球連盟静岡支部による「パラベースボールフェスティバルin Shizuoka」が、令和7年3月16日、裾野市陸上競技場にて開催されました。本事業は、パラベースボールとグランドソフトボールの競技説明・体験会を通じ、相互理解とパラベースボール普及を図る目的で、約50名が参加しました。

【活動内容】

雨天のため、裾野市陸上競技場の会議室にて、身体障害者野球、ろう野球、グランドソフトボールの競技特性やルールに関するトークセッションを実施。トークセッション前に、メディカルスタッフがストレッチを紹介・解説し、参加者全員で準備運動を実施。トークセッション後には、メディカルサポートブース(ベッド2台)を開設し、希望者に個別相談を実施。身体の状態やトレーニング方法に関する具体的な質問に対し、実践を交えながらニーズに合わせた方法を提案し、計8件に対応しました。

本フェスティバルでは、ろう野球チームの帯同に関する問い合わせや、様々な参加者からの相談が寄せられました。これまで主に身体障害者野球に関わってきましたが、本フェスティバルを通じ、ろう野球やグランドソフトボールの特性や現状を理解する貴重な機会となりました。今回の活動は、静岡県理学療法士会による身体障がい以外のパラスポーツへのメディカルサポートを知っていただく良い機会にもなりました。

会場の様子



【謝辞】

最後に、この貴重な機会を与えてくださいました中部東海身体障害者野球連盟の皆様にご心より御礼申し上げます。

ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム 「パラアスリート発掘測定会」

内田 桃花¹⁾2) 清水 美晴²⁾ 赤岩 龍士²⁾ 小林 敦郎²⁾

1)順天堂大学医学部附属静岡病院 2)予防局メディカルサポート部

【概要】

ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアムでは「パラスポーツのチカラで静岡を元気にする」等の活動理念を掲げ、その一事業であるアスリート強化ワーキンググループにおいて、パラアスリートの発掘や育成、支援する取り組みを実施してきました。

今回、令和7年3月16日(日)に静岡県健康福祉交流プラザ 体育館にて「パラアスリート発掘測定会」を開催いたしました。この測定会は、医療関係者によるヒアリングや、身体特性を知るための基礎体力測定を通じて、県内の障がいのある方がスポーツを始めるきっかけをサポートするための取り組みであり、県東部地区での開催は今回が初めてとなりました。県内在住、在学、在勤の11歳以上で、身体・知的のいずれかの障害がある方を対象に行われました。

【活動内容】

測定会のスタッフとしてアスリート強化ワーキンググループメンバー6名と理学療法士会派遣PT9名が参加し、各参加者の測定担当と指導担当、測定ブースの担当に配置され、測定会の運営・進行を行いました。測定を実施する前に、ヒアリングシートを活用しながら参加者の障がい状況等を聴取した後、医師が健康状態や投薬状況等を確認し、参加者情報をスタッフ間で共有しました。測定項目は、上肢長・握力・肩関節柔軟性・長座体前屈・立ち幅跳び・20m走・ボール投げ・3分間走であり、ヒアリングでの障がい状況に配慮しながら実施しました。測定終了後は、個別での運動相談やトレーニング指導を実施しました。参加者の希望や障がい特性、運動能力に合わせて、指導担当のスタッフを中心に行い、参加者やそのご家族が積極的に相談や質問をする様子が多く見られました。今回は参加者が少人数であったため、ヒアリングや個別指導等を密に対応することができ、参加者の皆様に測定会に参加した意義を感じていただくことができたのではないかと考えます。また、パラアスリートの支援活動において、参加者に対する事前のヒアリングや個別性を反映させた指導や対応は重要であることを改めて実感しました。

会場の様子



最後になりましたが、本測定会の開催にあたりご協力いただきました、ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム、公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会など関係者皆様に深謝いたします。

サッカー部門活動報告 第22回家康公杯清水スーパーシニアサッカー大会

澤野公一(1)2) 縄田琴美(2) 山下浩史(2) 芦澤俊樹(2)

1) 静岡市立清水病院 2) 予防局メディカルサポート部

【大会概要】

主催：静岡県サッカー協会、清水サッカー協会による「第22回 家康公杯記念スーパーシニアサッカー大会」が、2025年3月1日(土)、2日(日)、スポーツセンター蛇塚グラウンド他にて開催されました。本大会は、生涯スポーツとしてのサッカーを通じ、参加者の健康維持、地域活性化、シニアサッカーの普及・親睦を目的とし、O-60、O-70、O-75の各カテゴリーで熱戦が繰り広げられました。

【活動内容】

既往歴のあるシニア選手が真剣にプレーする中、テーピングなどの具体的な要求があり、その効果のフィードバックは貴重な経験となりました。本年も打撲や出血などの外傷に対し、基本的な応急処置と指導を行いました。幸い、救急搬送事例はなく、大会は無事に終了しました。団塊世代の増加により、今後O-65、O-80などの新カテゴリー増設の可能性があります。育成年代に加え、シニア世代へのメディカルサポート需要増加が見込まれるため、今後もサポートを継続します。

【処置件数】

計24件(1日目:10件、2日目:14件)

主な処置：アイシング、テーピング、頭部打撲チェック、止血処置

大会の様子



【謝辞】

この貴重な機会を賜りました関係者の皆様、参加選手の皆様に心より感謝申し上げます。



「産後の骨盤ケア教室」

菊地麻友美 1) 2) 小島健 1) 松本武士 1) 小林敦郎 1)

1) 予防局健康増進部 2) 島田産婦人科医院

予防局健康増進部では、2024年度、6市町にて「産後の骨盤ケア教室」を合計13回実施しました。

教室では、産後3ヶ月から未就学児のいる母達に産前産後の身体の変化や、必要な体操などを中心にお伝えし、一緒に身体を動かしていきました。

教室の中では、前後で姿勢や身体の動きを確認し、育児動作や抱っこ紐の装着方法を実際に一緒に確認・調整をさせて頂きました。

参加者の方々からは、多くの質問やご相談を頂き、皆さんが興味関心を持ってくださっていると感じました。お悩みとしては、尿漏れ・肩こり・腰痛に関する質問が多く聞かれました。

参加者の方からは、「抱っこ紐の付け方を変えるだけですごく楽になった」「家でできる体操を教えてもらえてよかった」という感想を頂きました。

産後の不調は、「産後だから仕方ない」と我慢してしまいがちです。今回の教室をきっかけに、生活の中に動きの工夫や体操を取り入れ、少しでも快適な身体で育児を楽しんで頂けると幸いです。

骨盤ケア風景



最後になりましたが、教室を実施するにあたり、ご協力頂いております行政の皆様、各地区のご担当者、関係者の皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。

健康増進部では、産後の骨盤ケア教室・骨盤底筋体操教室の講師を募集しております。

ご興味のある方・ご協力頂ける方は、

kenkou@shizuoka-pt.com(菊地)までご連絡をお願い致します。

2025 年度「静岡県臨床実習指導者講習会」開催概要

臨床実習指導者を担うにあたり、厚生労働省が指定した臨床実習指導者講習会等を修了していることが必須となっています。静岡県においても厚生労働省の指定を受け、臨床実習指導者講習会を企画しましたので案内致します。

1) 会場・日程・申込期間

	日程	会 場/開催方法	申込期間
第 22 回	2025. 6. 28 (土) - 29 (日)	静岡医療科学専門大学校 / WEB	4. 1 (火) 9:00 ~ 4. 30 (水) 13:00
第 23 回	2025. 9. 20 (土) - 21 (日)	中央医療健康大学校 / 対面	5. 15 (木) 9:00 ~ 6. 15 (日) 13:00
第 24 回	2025. 12. 6 (土) - 7 (日)	富士リハビリテーション大学校 / WEB	8. 15 (金) 9:00 ~ 9. 15 (月) 13:00

定員 : 対面 100 名 / WEB 70 名

講義時間 : 1 日目 ; 9:00~19:10 (講義・演習) 2 日目 ; 9:00~17:30 (講義・演習)

※第 23 回のみ 1 日目 9:20~19:30 2 日目 9:20~17:50 となります。

※本講習会は 16 時間の時間が指定されており、欠席・遅刻・早退の場合は修了書の発行ができません。予めご了承ください。

2) 受講対象者：実務経験 4 年以上の理学療法士・作業療法士

(実際の臨床実習指導は実務経験 5 年以上から可能)

2 日間とも確実に参加が可能な方 (申し込み時に上長と業務調整をして下さい)

3) 受講費 : ① PT 協会 会員 : 無料 ② PT 協会 非会員、作業療法士 : 1,000 円

4) 受講者の選定方法

申込多数の場合、次の①～③の有資格者を優先して、受講者を決定いたします。

①理学療法士

②静岡県内の理学療法士養成校実習施設 (県外施設を含む)

③静岡県理学療法士会会員

同一施設から複数名の申込も可能ですが、全体申込数により受講人数を制限することがありますのでご了承ください。

5) 受講決定

申し込み締め切り後、1 ヶ月半後を目処にメールにて連絡いたします。

先着順ではございません。申込み期間内にお間違いの無いようにお申し込みください。

原則的にキャンセルはできませんので、ご注意ください。

6) 申込方法・期間

①実務経験申告書の作成・提出

- ・「実務経験申告書 (Excel)」をダウンロード → <https://x.gd/rzTUX>
PC での作成をお勧めいたします。
- ・実務経験申告書の注意事項を必ず一読し、Excel 上で必要事項を入力したら印刷
(32 行目で「実勤務期間合計」が算出されますが、それは②の登録時に使用致します)
- ・印刷した書類に自身の捺印と施設代表者等の捺印した物を PDF データ (写真は不可) にする
- ・下記の申し込み先へメールで提出 (件名は「第〇回講習会実務経験申告書」とする)



第 22 回	なし (Google フォーム内に添付)
第 23 回	pt@suzuki.ac.jp
第 24 回	fujirehapt@gmail.com

※メール本文に、**所属と氏名**を必ず明記してください。

②申込者情報を登録

- ・以下の URL もしくは QR コードより申込内容を回答
会員番号 (作業療法士または非会員は会員外)、氏名 (フリガナ)、所属、
メールアドレス (職場や携帯アドレス不可)、専任教員・教員以外、
長期講習会受講の有無、生年月日 (西暦表示)、実勤務期間合計

申込期間中に①・②の両方を済ませた方のみ、申し込みを受け付けさせていただきます。
どちらかを忘れる方が多いので、必ず同時期に行ってください。

第 22 回	https://forms.gle/veK4sVFBEBvUovQB6	
第 23 回	https://forms.gle/n7GsjPRNPtuttTJz7	
第 24 回	https://x.gd/wjNQG	

7) 問い合わせ : e-mail でお願いします。

静岡県理学療法士会 臨床実習指導者講習会委員会 mail : rinsyo-jissyu@shizuoka-pt.com

以上



障害のあるお子さんの 生活を豊かにする道具（福祉用具）の活用法



2025.7.6（日） 9：00～14：30

ZOOMを使用したオンライン開催 定員90名（先着順）



講師：長谷川三希子先生

概要：

神経筋疾患や重症心身障害児のお子さんの生活を豊かにするためにわれわれ理学療法士ができることはどんなことがあるでしょう？

発達援助、運動療法、呼吸リハビリテーションなどさまざまな介入があり、どれもとても重要です。

ただ、障害を持つお子さん全般の機能や生活を広げるのは直接的な理学療法だけではありません。

今回の講習会では、獨協医科大学埼玉医療センターの長谷川三希子先生をお招きし、日常の中でお子さんの生活を豊かにするための道具である補装具作成についてお話しいたします。

身体に装着する装具だけでなく、姿勢を安定して活動を保証する座位保持装置やバギー、車いす等の選定についても内容に取り入れて頂きます。

また皆様の普段の悩みを共有するためのグループワークの時間も設け、双方向に情報共有いたします。

お子さんだけでなく、われわれセラピストの感受性が豊かになるような臨床の助けやヒントとなる研修会となれば幸いです。

受講費

- ・静岡県士会員 1800円（協会マイページ支払）
- ・他県士会員 2700円（協会マイページ支払）
- ・他職種および一般 2700円（銀行振り込み、手数料はご負担ください）
- ・会員外の理学療法士 3600円（銀行振り込み、手数料はご負担ください）

申し込み方法（5/1～6/19）

- ・協会員（県士会員、他士会員）⇒**必ず日本理学療法士協会HP内マイページより**

☆セミナーID 140142

☆カリキュラムコード 区分12-149福祉用具

☆履修目的 登録理学療法士 更新 4.5ポイント

認定／専門理学療法士 更新 4.5点

- ・会員外の理学療法士、他職種、一般 ⇒下記URLかQRコードよりGoogleフォームにて
※URLまたはQRコードより必要事項をご記入の上お申し込みください。

お申し込み後、参加要項をメールにて送信いたします。

参加費振り込み後のキャンセルにつきましては主催者側の都合でキャンセルとなった場合を除いて返金は致しかねますので、ご了承ください。



URL:<https://forms.gle/YFkWogkTQVZgg4x1A>

「お問い合わせ」

【一般】TEL：054-266-5674（担当：公益社団法人静岡県理学療法士会事務局）
※平日10:00～17:00

【会員】E-mail: hiro@shizuoka-pt.com（担当：板倉宏晃）※メールでご連絡下さい



令和7年度 災害リハ支援者養成研修会

日時：令和7年7月26日（土）10時00分～17時00分
（受付開始：9時30分～）

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」2F会議室
（〒422-8063静岡市駿河区馬淵1丁目17-1）

対象：①静岡県リハビリテーション専門職団体協議会の会員
（静岡県理学療法士会・静岡県作業療法士会・静岡県言語聴覚士会の会員）
②静岡JRATメンバーの医師（令和6年能登半島地震派遣隊の医師も含む）
③PT・OT・ST養成校の学生
④上記以外の災害リハビリテーションに関心のある保健医療福祉職のかた

定員：先着50名 PT・OT・ST各士会の学習ポイント付与の対象となります（予定）

受講料：1000円（当日会場受付で集金） ①②③の方は無料

【内容】

●午前の部

「災害リハビリテーションと地域リハビリテーション※」「災害リハビリテーションの実際※」

●午後の部

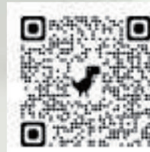
「災害時の情報管理とクロノロ演習(仮)」「REHSUG※」「DREAG※」

※プログラム作成：熊本JRAT事務局 佐藤亮先生（講師は災害対策委員が務めます）

【申し込み方法】締め切り：令和7年7月4日（金曜日）

右のQRコードか下記URLの応募フォームから申し込みください。

<https://forms.gle/SLzUejwW3BcfUqYd9>



★予め当協議会災害対策委員会制作のeラーニング履修(約140分)をお願いします。
修了証は事前のeラーニング履修＋本研修会参加で発行されます。
（未履修の方は本研修会お申込み時にeラーニング受講も受付いたします）

★対面での開催のためZOOM配信やYoutube配信は行われません。

★来場者用の駐車場はございません。お手数をかけますが周辺のコインパーキングか公共交通機関をご利用ください。

主催：静岡県リハビリテーション専門職団体協議会

共催：公益社団法人静岡県理学療法士会・公益社団法人静岡県作業療法士会・一般社団法人静岡県言語聴覚士会

協力：静岡県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（静岡JRAT）

お問合せ先：静岡県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策委員会 pos.saigai.2025@gmail.com



静岡県理学療法士連盟

NEWS

Vol.8
2025.5.1

令和7年3月17日 関係各所の皆様のご尽力により、静岡県より
【リハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）の処遇改善
を求める意見書】を下記の提出先、内閣総理大臣・厚生労働大臣等に提出
して頂きました。連盟は、皆様の処遇改善に引き続き、動き続けていきます。

リハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）の 処遇改善を求める意見書

本文

リハビリテーションの目的は、事故やけがによる身体機能不全の回復に加え、高齢や脳の病気による心身機能低下を改善させることである。

昨今では、高齢者はもとより認知症の方や障害者への支援、子供の発達支援、メンタルヘルスクアなど多くの分野で必要とされており、クオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上についても期待されている。

リハビリテーションには、理学療法や作業療法、言語聴覚療法があり、それぞれ理学療法士、作業療法士、言語聴覚士(以下「リハビリテーション専門職」という。)が行っているが、その給与額は長年変化がなく、他職種と比較して伸び率が劣っている。処遇の低下は優秀な人材の流出や担い手不足を招き、リハビリテーションの質の低下にもつながりかねない。

国においては、令和6年度診療報酬改定において、リハビリテーション専門職の賃上げ措置を決定したところであるが、令和6年9月に実施された「リハビリテーション専門職の処遇改善に関する実態調査」において、医療施設では約3割、介護・福祉施設では約4割の施設で給与上げが行われていない実態が明らかとなった。

リハビリテーション専門職の処遇改善は喫緊の課題であることから、今後は給与水準の底上げや継続的な昇給に向けた抜本的な対策が必要である。

よって国においては、リハビリテーション専門職のさらなる処遇改善の実現に向け、地域におけるリハビリテーション専門職の確保や処遇改善に向けた取組の推進を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年3月17日

提出先

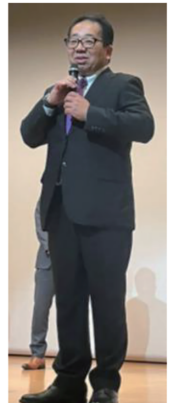
- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 総務大臣
- 財務大臣
- 厚生労働大臣

令和7年3月25日 静岡県老人福祉施設協議会 上川陽子衆議院議員 事務所
にて【田中まさし】後援会広報を行いました。
また、【相坂せつじ】静岡県議会議員 県政報告会へ出席しました。



令和7年4月21日 磐田市議会議員選挙に理学療法士【秋山勝則】氏が当選しました。応援して頂いた磐周支部の方々、ありがとうございました。

令和7年4月26日 新人オリエンテーション・拡大理事会にて【田中まさし】参議院ご挨拶。引き続き、理学療法士【田中まさし】議員を応援していきます。



静岡県理学療法士連盟 新規入会及び会員継続登録のお願い

年会費 ¥1000とし、当会の運営を行うこととなりました
右記のQRコードもしくはURLから申込みフォームへの登録をお願いします。

- ・ 既会員：会員継続の意志確認、会員情報の再登録
- ・ 新規会員：新規入会登録



<https://forms.gle/CCF4vXYvHGDmEcrJ7>

富士リハで
理学療法士
作業療法士
を
目指そう!



● 学校法人森島学園 厚生労働大臣指定 文部科学省職業実践専門課程認定校 理学療法学科 作業療法学科 ↓詳しくはこちら

専門学校 富士リハビリテーション大学校



〒417-0061 静岡県富士市伝法 2527-1 TEL.0545-55-3888 FAX.0545-55-3889 URL.https://www.morishima.ac.jp/fuji/

賛助会員

未来へまっすぐ

一人ひとりの身体の悩みに寄り添い、支えるスペシャリストに

理学療法学科 柔道整復学科

- ・ワンルームタイプの学生寮（男女）
- ・学生食堂：日替わり定食・季節メニュー
- ・沼津駅・伊東駅・菰山駅からの送迎バス
- ・早期にスタート！本気の国家試験対策
- ・レッドコード、治療台などの設備が充実



学校法人 原学園



静岡東都医療専門学校

SHIZUOKA TOHTO MEDICAL COLLEGE

〒410-2221 静岡県伊豆の国市南江間 1949 番地

TEL 055-947-5311 FAX 055-947-5313



理学療法士募集

募集人員 常勤 2名程度

平成26年開業の静岡市清水区の整形外科・リハビリテーションのクリニックです。
広いリハビリ室で運動器リハビリテーションを主体とし『安心』『笑顔』『和やか』をモットーに
治療にあたっています。明るく元気な方を募集しております。

施設名	たむら整形外科	週1日勤務など、パートでも相談に応じます
施設概要	整形外科・リハビリテーション科	
待遇	基本給260,000円～320,000円(経験考慮) 残業手当別(月平均4万円) パート 時間給2,000円～ 資格手当、通勤手当、その他必要な手当、 賞与年2回、昇給年1回、各種保険完備、退職金制度あり	交通 バス・南矢部 三保草薙線 徒歩2分 向田町 蜂ヶ谷・梅ヶ谷市立病院線 徒歩7分 中矢部 蜂ヶ谷・梅ヶ谷市立病院線 徒歩10分
休日	週休2.5日(水・日)・土曜日午後・祝日、年次有給、夏季休暇、年末年始休暇	
勤務時間	8:00～12:30、14:30～18:15(平日) / 8:00～12:30(土曜) 残業手当あり	
応募方法	電話又は履歴書を郵送して下さい。	
連絡先	〒424-0855 静岡市清水区庄福田9-15 Tel 054-353-0777 Fax 054-351-5550 担当: 田村 晋	

理学療法士募集

募集人員 常勤2名

2025年2月に新しくオープンしたクリニックです。
外科的アプローチと内科的アプローチで運動療法、食事療法、薬物療法を行い、
多職種連携で患者様の健康をサポートします。

施設名	清水サルバス整形外科・糖尿病内分泌クリニック	交通 静鉄静岡清水線 桜橋駅より車4分
施設概要	無床 理学療法 物理療法	
待遇	基本給26万円～、通勤手当、資格手当、職務手当 賞与年2回、昇給年1回、各種保険完備、退職金制度あり	
勤務時間	8:30～18:00	
休日	週休2日制、年次有給、夏季休暇	
応募方法	履歴書を郵送してください	
連絡先	〒422-8004 静岡市駿河区国吉田4-5-27-201 Tel 054-265-1515 Fax 054-265-1551 採用担当 松永 E-mail saiyo-junbi@kind.ocn.ne.jp	

理学療法士募集

募集人員 常勤 若干名

地域の三次救急を担う急性期病院です。
研修会、各種資格取得や学会発表へ活動も活発です。幅広い疾患が経験できます。

施設名	浜松医療センター	
施設概要	606床	
待遇	基本給 206,400円～※経験年数による加算あり※諸手当あり(通勤手当、住宅手当、扶養手当その他) 賞与あり(令和5年度実績 月4.4ヶ月分)、昇給年1回、退職金制度あり	
休日	4週8休制(完全週休2日制に相当)、年末年始休暇、年次有給休暇(平年次20日)、 夏季厚生休暇(8日)、特別休暇(産前産後、結婚、看護・介護休暇その他)、育児・介護休業制度	
勤務時間	8:15～17:00	
応募方法	「採用試験志願書・自己紹介書」を郵送してください。 詳しくは当院ホームページをご覧ください。 https://www.hmedc.or.jp	
連絡先	〒432-8580 浜松市中央区富塚町328番地 公益財団法人浜松市医療公社 人事課 人事係 Tel: (053)451-2703 E-Mail: jinji@hmedc.or.jp	

求人広告に関するお問い合わせ

Eメールにてお問い合わせください

静岡県理学療法士会広報局 渡邊勉(わたなべ つとむ)
E-mail: tsutomu@shizuoka-pt.com
一般財団法人富士脳障害研究所附属病院

※ゆまにて211号の掲載原稿の
締め切りは2025年8月31日です。